

広報 やまの

No.140
2025.3.25

山野地域づくり協議会
〒982-0204 南砺市飛騨屋20
TEL 0763-82-4510

祝 南砺市二十歳の集い



二十歳の皆様に向けて

市議会議員 川原 忠 史

二十歳という人生の大きな節目を迎えられました皆様、心よりお祝い申し上げます。

また、今日まで深い愛情で育て、見守ってこられました、ご両親をはじめご家族の皆様には、喜びもひとしおのことと、お慶び申し上げます。

今年の冬は十数年ぶりの豪雪との予報でありましたが、「二十歳の集い」の当日は、大変穏やかな日和となり、文化センター前庭で級友との久しぶりの再会を喜び合う様子を、ほのぼのと拝見させていただきました。

さて、昨年4月末に、20～30代の女性の人口が50%以上減少する「消滅可能性自治体」として、南砺市も分類されてしまいました。

市では、最大の課題である「人口減少」に立ち向かい、住み続けたい場所や活躍する場として若者を選びられるまちを目指し、取り組みを進めています。

近年、井波地域では、地域の若者や移住者による空き家・空き店舗の活用・再生による元気なまちづくりに取り組まれ、市内外から脚光を浴びています。是非、皆様の若い力、発想力・実行力を、山野地区の発展、ひいては、井波地域及び市の発展へと尽力いただきますようお願いいたします。

結びに、二十歳を迎えられました皆様の今後ますますのご健康とご多幸をご祈念申し上げます、夢の実現に向け、邁進されますようお願い申し上げます。





嶋 小 雪

この度、二十歳という人生の節目の日を迎えられたことを大変嬉しく思います。家族をはじめ、友人や先生方、地域の皆様など、これまで支えて下さったすべての方に感謝しています。本当にありがとうございます。

私は現在、県内の大学で経営学を学び、将来の夢に向かって日々勉強に励んでいます。将来への不安を感じ、逃げ出したくなる時もあります。しかし、そんな時はいつも私のふるさとである、山野がこころの拠り所になっています。

これから先、就職してこの地元を離れる時が来ますが、山野が私の原点であり、ずっと変わらない私のふるさとです。これまで二十年間、大切に育てて下さったすべての方に恩返し出来るよう、そして、この山野に胸を張って戻ってこれるよう、これからも精進してまいります。



野 村 妃 希

家族や友人、これまで支えてくださった多くの方々への感謝を胸に、二十歳という新たな節目を迎えました。あたたかい地域で育ち、たくさんの方々から見守られてきたことに、改めて幸せを感じています。大きな問題もなく「二十歳の集い」に出席し、同級生と顔を合わせられたことも、この井波の暖かな地域性があってこそだと思えます。関係者の方々、地域の方々非常に感謝しています。そんな地域の一員として、自分も誰かを支えられる存在になりたいと感じています。

二十歳になった今、まだ学生という身でありながらも「大人」としての責任を意識し、日々の行動に誠実さをもって臨んでいきたいと思っています。現在私は教育学部に進学し、学びに励んでいます。将来は富山県で教員として働くことを目指しています。富山で働くことを通して、お世話になった地域に少しでも恩返しをし、地域社会に貢献できる人材となるよう努めていきたいです。



松 田 華 林

この度、二十歳という人生の節目を無事迎えることができ大変嬉しく思っております。家族をはじめ、友人や先生方、地域の方々等、たくさんの方々の支えがあったからこそ心身共に成長することができました。本当にありがとうございます。

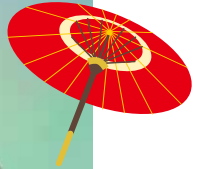
私は現在、大学に進学し様々な素材を扱った作品作りやプロダクトデザインに関する知識や技術を学んでいます。主にガラスや金属、プラスチックや布等素材毎に異なる特性を学び、困っている人の助けになるプロダクト製品を制作できるよう努力しています。授業はもちろん、アルバイトやコンペティション、日々の生活等様々なことから生じるアイデアや学びを今後の作品制作や自身の人間性の成長に活かし、使った人が笑顔になれるプロダクトを作るデザイナーになるため今後も努力を続けます。そして、家族をはじめとした周囲の皆さんの支えがあったからこそ自分の進みたい道を歩めるのだと念頭に置き、常に感謝の心を持って行動するよう心がけたいです。



南砺市二十歳の集い
フォトギャラリー



祝 南砺市二十歳の集い



「地域でまるごと健康教室」開催

健康福祉部長 川 上 久 志

山野地域づくり協議会では南砺市健康課と協働で、高齢者の健康づくりを応援するために6月14日(金)・28日(金)の二日間、「地域でまるごと健康教室」を山野交流センターで行いました。20名ほどの参加でしたが、終始、和やかな雰囲気の中、一つの課題に取り組みました。

主な内容

- からだを動かしましょう
(簡単にできる体操、単体力チェック)
- 健康バランス弁当試食
(二日の食事の摂取量とバランスチェック)
- 咀嚼力チェック(ガムを噛んでチェック)
- 個別相談

(保健師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士のみなさんと)

参加された方々のコメント

- ・ちよつとでも体を動かすことを意識して生活したい。
- ・将来の自分の生活を想像、意識することが大切だとわかった。
- ・お口の体操、簡単な体操、毎日できなくても気づいたらしたい。
- ・健康バランス弁当、美味しかった。塩分気になりました。
- ・普段の生活の見直しに役立ちました。 など



集まろう、話そう、歌おう、ほのぼの家

この「地域でまるごと健康教室」を行うにあたり、井波食改のみなさんに大変お世話になりました。ありがとうございました。なお、今年の6月には、地域でまるごと健康教室「フオローアアップ教室」として座談会を行う予定です。

ほのぼの家



健康福祉部ふれあい委員会

3月1日(土)に、70歳以上で一人暮らしの方や、75歳以上のご夫婦でお住まいの方をお招きして、「ほのぼの家」を開催しました。招待者15名、ふれあい委員・ボランティアグループ13名が参加しました。

おしゃべりタイムの後、音楽療法士の田悟恵さんの軽快な進行のもと、歌や楽器を交えた集いが始まりました。楽しいお話に誘われて、思い出話を交えながら季節の歌を歌ったり、昭和の映画の主題歌を話題にして鳴子やチャイムを手に音色を楽しんだりして、体も心もほぐされ、会場は笑い声や歌声であふれました。



続いて、ボランティアグループの皆さんに準備していた鍋料理やおにぎりをおいしく味わった後、いろいろなカップ麺を獲得するじゃんけんゲームを楽しみました。会場に集まった皆さんが、一つの家でほのぼのと過ごすような和やかなひと時でした。来年も多数の皆さんの参加をお待ちしています。

「山野健康マージャン教室」開催中(毎週火曜午後) 年3回実施の「健康マージャン大会」で腕試し!!

世話人 高 田 博 之

第1回山野健康マージャン大会は、2016年(平成28年)12月に開催されました。2018年(平成30年)に健康マージャン卓を4台購入し、以来大会を継続しています。

2021年(令和3年)から交流センターで「だれでもなんでもサロン」が始まり、「健康マージャン教室」も前向きに相乗りしました。2卓から3卓で和気あいあいと楽しんでいきます。

昨年の南砺市健康マージャン大会(15卓60人参加)で山野のチームは団体優勝、個人優勝を勝ち取りました。今年も2チームが参加します。やる気満々です。

今後、女性も含めて、和やかなマージャン教室になることを期待しております。

山野健康マージャン教室 会員募集中

開催日 毎週火曜日 13:45 ~ 17:00

場 所 山野交流センター 会議室

参加費 無料(飲物・お菓子付き)

都合のよい時間に気軽にお立ちよください。頭の体操を楽しみませんか。



山野町内会長協議会

会長 河原 正明
副会長 齋藤 嘉明

〃 柴田 芳雄

〃 長谷川秀伸

〃 永井 信彦

〃 武田 順治

〃 柴田 芳雄

〃 岩崎 宏志

〃 齋藤 嘉明

〃 長谷川秀伸

〃 堀 直毅

〃 河原 正明

〃 山田 義弘

〃 森井 徹

〃 梧桐 明朗

山野老人クラブ長寿会

会長 河原 祥慈(安)

副会長 柴田 誠一(岩)

〃 吉田 達雄(高)

〃 稲垣 貢(軸)

〃 綿貫 哲(山)

〃 松川 陽子(岩)

〃 境 有司(坪)

〃 高齡者学級長

〃 副学級長 菊野 裕子(山)

〃 担当 齋藤 幸宏(飛)
〃 担当 大浦 智子(専)
〃 活動推進員 綿貫 哲
〃 細川和代子(軸)

〃 女性部長 海老 志美(飛)

〃 女性副部長 細川和代子

〃 ふれあい祭り展示委員 綿貫 哲

〃 ふれあい祭り発表委員 吉田ひろみ(高)

〃 綿貫 哲

〃 吉田ひろみ

〃 境 有司

〃 前川久美子(坪)

〃 松川 陽子

〃 吉田 達雄

〃 齋藤 幸宏

〃 齋藤 幸宏

〃 齋藤 幸宏

〃 健康福祉部会委員 齋藤 幸宏

山野壮年会

坪野 板橋 秀司

〃 山 斐 山田 和成

〃 岩 屋 岩倉 正晴

〃 飛 屋 高田 礼彦

〃 野 原 往蔵 千収

〃 井波軸屋 稲垣 清人

〃 安 室 佐竹 弘昭

〃 清水明 磯辺 紀之

高 屋 高田 繁
専 勝 寺 大浦 峻

山野青年会

坪野 藤原 和哉

〃 山 斐 東城 力憲

〃 岩 屋 山下 幸司

〃 飛 屋 大野 弘毅

〃 高 屋 高田 拓

〃 専 勝 寺 川原 直人

〃 清水明 嶋 智也

児童クラブ育成連合会

坪野 藤原 和哉

〃 山 斐 大島 智之

〃 岩 屋 斉藤 剛彦

〃 飛 屋 高田 喜裕

〃 安 室 守山 佳久

〃 清水明 嶋 智也

〃 専 勝 寺 大浦 靖之

〃 母親クラブ 藤原香奈恵

〃 坪野 大島加奈子

〃 山 斐 榎木 温子

〃 岩 屋 高田 瑞恵

〃 飛 屋 高田 瑞恵

安 室 新里 宏美
高 屋 高田 友紀
専 勝 寺 鎌 寛子

山野壮年会、山野青年会及び児童クラブ育成連合会は、総会前のため地区役員名のみ記載しています。



結ネット
出前説明会の開催について

山野地域づくり協議会では、山野地区全世帯の皆さんに結ネットの登録をお願いしています。結ネットは、町内の連絡事項やすぐ伝えたい緊急情報もリアルタイムで各世帯に伝達できます。また、もしもの災害時には「災害モード」に切り替え、安否確認ツールとして活用できます。

結ネットについて知りたい、話を聞いてみたい地域・団体向けに職員が出向いて説明しますので、お気軽にご相談ください。

(地域づくり協議会事務局)

太鼓の達人大会を開催

スポーツ推進委員長 榎 木 勝 規

12月14日(土)に太鼓の達人大会を開催しました。一部のコンピュータゲームは今、eスポーツとも呼ばれ、脳トレとしても、身体が不自由になっても楽しめる娯楽として注目されています。

山野地域づくり協議会では今年、三世交代の促進を目的としてswitch版の太鼓の達人を購入し、「だれでもなんでもサロン」や「チャレンジスポーツ☆やまの」など、人が集まる場で体験する機会を提供してきました。今回の大会には子どもたち13名を含む26名が参加。特に小学生の子たちがお互いに誘い合って参加してくれたことが賑わいにつながりました。開催を楽しみにして練習をして臨んだ小学生たちは見事なバチさばぎで高得点を叩き出し、次々に記録が塗り替えられる白熱の展開となり、とても盛り上がりました。



今後にも年に2回程度、定期的に開催する予定です。地域づくり協議会からのお知らせにご注目下さい。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

太鼓の達人大会に参加して

4年 新里 花

私はゲームが大好きです。12月に山野交流センターで太鼓の達人大会があると聞いて、ぜひ参加したいと思いました。せっかく大会に出るならいい結果を残したいと思い、家でたくさん練習しました。主に「まいにちがドンダフル」と「星屑ストラック」という曲を練習しました。

大会当日、最初は順調に進み、まずまずの結果でした。しかし他の人もうまかったので点数をぬかされてしまいました。次に行ったときはうまくいき、ふたたび一位になりました。大会が終わるまで他の人に点数をぬかされないかと、とてもひやひやしました。けれども、そのまま一位をとることができました。

このような楽しいイベントに参加できてうれしかったです。



第48回 防火ポスターコンクール表彰者

主催 南砺市消防団山野分団 3月9日



低学年の部

- 金賞 嶋 早織 (小三)
- 銀賞 磯邊 隼士 (小三)
- 銅賞 守山 詩乃 (小一)
- 吉川 実花 (小二)
- 長谷いち葉 (小三)
- 長谷日々人 (小一)

高学年の部

- 金賞 磯辺 知花 (小六)
- 銀賞 吉川 侑花 (小六)
- 銅賞 大谷 馨子 (小五)
- 上田美悠香 (小五)
- 新里 花 (小四)
- 澤田 心晴 (小四)
- 吉田 彩音 (小五)

中学生の部

- 金賞 野村 羽那 (中二)
- 銀賞 竹原 美遥 (中三)
- 磯辺 悠花 (中二)
- 大谷 吉乃 (中二)
- 波能麻里菜 (中二)

保育園の部 努力賞

- 磯邊 彩葉
- 松岡 玲奈
- 嶋 駿希
- 吉田 弦睦
- 吉田 壹瑳
- 高田 菜來
- 高田 悠生
- 長谷ちと瀬



山野の魅力紹介

5

集落の教科書



伝統や習慣を継承しつつ、変わりゆく時代に沿ったルールの見直しのきっかけに

教科書委員会委員長
高木 権一

シミズアキラは芸能人の名前ではない。地名しみずみょう（清水明）である。山野、安室、野能原、どれも他所から来られた方にとっては読みづらい。これは全国どこでも同じようにある。普段何気なく使っている言葉もわからないことが多い。万雑（まんぞう）、氏子（うじこ）、江濠（えざらい）など昔から使っている物や事の名称や方言、最近では地元の人にも通じない場面もある。

「集落の教科書」は令和元年に開かれた課題解決円卓会議の中で誰かの発言の中にあつた記憶があり、しばらく間をおいて思い出し、石川県七尾市高階地区から発想されていることを知り入手した。

この教科書のコンセプト（一貫した考え方）は「良いこともそうでないこともちゃんと伝えたい」です。そうでないこと＝悪いこと、



知られたくないことだと思いが…。

教科書の目的は人口減少対策のツールとして作成するもので移住希望者に移住先として選んでいただくため、そうでないこともさらけ出すことが求められる。移住してからこんなはずでなかったと後悔をしてほしくないのです。

山野地域づくり協議会役員会で審議され山野版「集落の教科書」作成の承認をいただいた。早速準備委員会を立ち上げ、県や市からの支援要請、県内先進地魚津市片貝地区の視察、作成を担当する企画・作成委員の選任などに着手した。地域おこし協力隊1名を含む5名の企画・作成委員会では、随所でチェックする編集委員として8名に依頼し、作成スケジュールを立て、完成を令和6年度末とした。

富山県中山間チャレンジ支援事業への応募も採択された。掲載の情報は十地区の自治会長さんにそれぞれ地元の特徴、組織、習慣やルール、その他アピールし

たい事などアンケートに答える形をお願いした。その他の情報は企画・作成委員が手分けして収集した。問題は集めた情報をどうしたら見やすいものになるか、マスコットキャラクターを井波在住の漫画家森みちこさんに依頼、総合広告代理

店グループに地図やデザイン作成を依頼、構成や編集のアドバイスを受けながら計29回の企画・作成委員会と4回の編集委員会を経て発行を迎えることができました。

集まった情報の整理作業で感じたことは、自分の住んでいる所の事で知らなかった、勘違いしていたことが意外と多く、ましてや隣の地区との風習やルールの違いに驚くことが多かった。このため協議会の役員会では移住希望者向けではなく長く住んでいる自分たち向けの内容として欲しいとの意見があり、少々の軌道修正をすることになりましたが基本のコンセプトからは外れないものに仕上がったと自負しています。

集落の教科書を通して、先人から受け継いだ伝統や習慣を継承して行くことの大切さと常に変わりゆく時代に沿ったルールの見直しをするきっかけになれば幸いです。

編集後記

今年の冬は4年ぶりの大雪に見舞われ、連日の除雪で体中が筋肉痛となり、もう雪はこりこりと思った方も多いことでしょう。一方、雪景色はとても美しく、静寂で幻想的な雰囲気を作り出します。大雪には良いことと悪いことがあります。雪国ならではの楽しみにも目を向けていけたらと思います。

（広報委員会）